

中国安徽省 合肥新駅総合開発試験区管理委員会との 業務協力覚書の締結について

株式会社みずほ銀行（頭取：林 信秀）およびみずほ銀行（中国）有限公司（以下「みずほ中国」）は、2015年9月15日付で、中国安徽省の合肥新駅総合開発試験区管理委員会との間で業務協力覚書を締結しました。

合肥市は、長江デルタ地域の西部に位置する安徽省の省都であり、上海や江蘇省などの一大消費地へのアクセスと、コスト面に優れた生産基地として、沿海部から内陸への産業移転を引き受ける重要な役割を担っています。

合肥新駅総合開発試験区は、合肥市中心部の東北部に位置し、2015年3月に新たに国务院の認可を受けた安徽省唯一の総合保税區を有する開発區で、積極的な外資誘致や進出企業へのサポートを行っています。また、みずほ銀行・みずほ中国が2014年7月に業務協力覚書を締結した国家級開發區である合肥經濟技術開發區、合肥高新技術產業開發區にならぶ合肥市の3大開發區として注目されており、液晶パネルなどの分野で企業進出が進んでいます。

本覚書は、当該地域への産業誘致のアドバイス、投資説明会開催などへの協力を進め、日系企業の進出支援等を通じ、同地域の經濟發展への相互協力を図ることを目的とするものです。

みずほ中国は、邦銀として唯一、安徽省に支店（合肥支店を2013年8月に開業）を開設しています。〈みずほ〉は、中国国内18カ所のネットワークを活かし、同地域へ進出しているお客さまへの各種アドバイスや、進出を検討しているお客さまへの投資環境案内や進出時の各種サポートを一層強化していきます。

（ご参考）合肥市概況（数値は2014年）

概要	安徽省の省都であり、中国中部地区の中では東部沿岸地域にもっとも近くに位置する都市。 （面積：11,400km ² 、人口：770万人）
主要な産業	家電、建設・輸送機械、自動車、日用品・食品など
GDP	5,158億元（2013年比10.4%増）

以上